

# 國際法外交文雜誌

第一二二合併號 第五十八卷

昭和十四年五月三十日發行

特集 海洋法の研究

論說

領海の幅と國際法

海洋法國際會議の第五委員會の審議

経過について

領海及び接続水域に関する条約

公海に関する条約

大陸棚に関する条約

漁業および公海生物資源保存に関する条約

——その効果と限界——

紛争の義務的解決に関する

選択署名議定書と各条約の最終条項

資料

海洋法國際會議に関する条約・決議（英文）

東京大学名誉教授 横田喜三郎

法制局参事官 関道雄

慶応大学助教授 中村洗

近畿大学助教授 高林秀雄

东北大学助教授 小田滋

东北大学助教授 小田滋

神戸外国語大学助教授 皆川洗

# 國際法外交雜誌

第五十八卷 第三號

昭和四十三年七月三十日發行

## 論說

Disengagement の沿革と本質

慶応義塾大学教授 内山正熊

排他的漁業権概念の歴史的展開(一)

熊本大学助教授 山本草二

涉外事件における裁判管轄権に関する一考察

立教大学助教授 沢木敬郎

## 紹介

G.I.A.D. Draper, *The Red Cross Conventions*, London: Stevens and Sons Ltd., 1958. (高野 敦徳)——Brierly, *The Basis of Obligation in International Law and other papers*, 1958. (藤家作太郎)——百々日之助「植民地に於ける議會政治の諸問題」(昭和三十一年)百々日之助「アメリカの政治」(昭和三十四年)(矢内原 勝)——「國連に関する各國圖書」W.A.N.A. (海軍第三段)——Egypt and the United Nations, 1957. (山手 裕之)——Geoffrey L. Goodwin, *Britain and the United Nations*, New York, 1957. (湘江 滄)

会報

# 國際法外交雜誌

第五十八卷 第四號

昭和四十三年九月三十日發行

## 論說

對華二十一箇條問題と列國の態度

早稻田大学教授 石田榮雄

宇宙空間の法的地位

専修大学助教授 池田文雄

排他的漁業權概念の歴史的發展(上・完)

熊本大学助教授 山本草二

## 會議報告

大氣圈外の地位とその平和利用

東京大学教授 高野雄一

## 紹介

Jacqueline Belin, *La Suisse et les Nation Unies, 1956* (石本泰雄)

## 資料

ウルグアイ事情 (大隈信幸)——メキシコの現状 (大倉敏之)

# 國際法外交雜誌

第五卷 第八十五號

昭和四十三年十一月三十日發行

## 論說

ディズレーリの帝國主義とその史的背景(一)——帝國と民族——

明治大學講師 坂井秀夫

セント・ローレンス・シーウェイの軍事的意義

日本郵船株式會社 高梨正夫

## 資料

「サンタ・フェ」号捕獲事件の再審査決定書

## 紹介

Alejandro Alvarez, *Le Droit International Nouveau dans ses rapports avec la Vie Actuelle de Peuples*, 1959. (桑原輝路)——(鹿島守之助訳)『世界情勢と米國 1956』(大畑篤四郎)——グッドリッチ・サイモンズ『國際連合と平和の維持』上・下(広瀬善男)——ソビエト連邦科学院法律研究所『國際法』(長尾賢三)——田岡良一『國際法Ⅲ』(吉崎繁樹)

## 會報

國際法学会秋季研究大會関西及び關東西部會報告



# 國際法外交雜誌

第五十八卷 第六號

昭和三十一年一月三十日發行

## 論 說

國際法における権利濫用の一考察(一)  
國際連合に於ける侵略の定義

ディズレーリの帝國主義とその史的背景(二)

——帝國と民衆——

明治大學講師 坂井秀夫

## 紹 介

横田喜三郎「海の國際法」(上卷)(高林秀雄)——小田滋「海の國際法」(下卷)(中村洗)

——Eleanor Flexner: Century of Struggle-The Woman's Right Movement in the United States, 1959——(北島孝枝)

## 文 献 目 録

## 総 目 次

國際法学会會員名簿

長崎大學助教授 名 島 芳

京都大學大學院 土 屋 茂 樹